

## 本日より秋闘山場総行動! コロナ禍だからといって、要求はあきらめない!!

【表1】 目指すべき賃金水準

2015年			2019年			××年		
順位	都道府県名	ラス指数	順位	都道府県名	ラス指数	順位	都道府県名	ラス指数
1	神奈川県	104.1	1	静岡県	102.3			
20	新潟県	100.1	18	新潟県	100.1			
20	石川県	100.1				24	富山県	99.9
			26	石川県	99.7			
27	福井県	99.6	27	岐阜県	99.5			
			28	福井県	99.4			
34	岐阜県	98.7	34	富山県	99.2			
37	富山県	98.3						
47	鳥取県	91.8	47	鳥取県	95.3			

(出典) 平成31年地方公務員給与実態調査結果等の概要 他各年度の概要

### 全国中位をめざして

2019年4月の全国順位とラスパイルズ指数は、34位99・2でした。この順位と指数は、2018年と同順同率です。9月30日の知事との交渉では「全国中位にするべきだ」と知事に再度確認しました。

回答では「査定昇給の検証は労使で行う」としながらも、具体的に中位に引き上げる手法は業績評価制度の運用のみを提示するだけです。秋闘の交渉と同時並行で検討会を開くこととしています。速やかに全国中位に向け制度的加算を加えた改善を行わさせる必要があります。

このほか青年部若年層賃金の改善などを求めています。当局からは明らかに低い年代の水準改善には触れず、優位な部分だけを切り取って示すだけで不当な回答に終始しています。

### 11月9日の交渉日程

集会及び交渉	集会・打合せ場所、時間	交渉
基本組織・壮年者協	県民会館401号室 (13:45~)	14:30~
現業協	県民会館8階バンケット (14:00~)	15:10~
職種協	県民会館401号室 (16:00~)	16:30~
	・研究職	
	・家保	
	・船舶農水	
	・土木	

# 定年引き上げに向けた環境づくり

定年引き上げに向けた国家公務員法の改正は検察庁法の改正とともに再度上程する方針とされ、いつ国会審議されるか不明です。したがって県に対する要求では年度末の条例改正を求めています。法案が成立しないのであれば改正は難しい情勢となっています。

中央交渉でも、11月4日に実施された公務員連絡会書記長クラスの交渉でも速やかな法案提出を内閣人事局に対して求めているところ。内閣人事局の認識は「国家公務員法等改正案は、様々なご意見があった。法案の提出について、改めて検討」としています。

今でも職種によっては、加齢を理由として再任用を希望しないなどの課題があります。が、この状態のまま定年引き上げが実施されれば、今以上に離職者が増える可能性があります。

組合では各職場の状況を確認し納得できる定年延長制度の確立をめざし「労使協議」の場を設けることを求めています。

## 定年引き上げに関し

### 申し入れた内容（要旨）

- ① 60歳前と同様の業務であれば賃金水準を維持
- ② 役職定年の取扱いと役職定年の例外措置の除外
- ③ 定年退職者が生じない年での新規採用
- ④ 60歳を超える職員の働き方
- ⑤ 現在の再任用者の賃金の改善

今年の秋闘は、3密を避けた体制で取り組みます。

地区別集会など、本部役員が地区に赴きながら取り組みの状況などを説明します。

## 山場の行動で行われる交渉に マイカーで参加される皆さんへ

県庁構内駐車場は工事箇所があるため駐車できません。  
周辺の駐車場をご利用ください。

※駐車料金の精算を後日行います。

領収書（表面）に分会名とお名前を記入の上、地区書記局へ提出ください。